

「神さまのために生きる」

アメージンググレースという聖歌をご存知だと思います。日本聖公会聖歌集聖歌 540 番にもあります。日本人にも市民権を得ている有名な聖歌です。日本語でも様々な訳に訳されていますが、原語の歌詞は本当に素晴らしいと思います。神に対する信仰の告白が歌われています。

Amazing grace! how sweet the sound
That saved a wretch like me
I once was lost, but now am found
Was blind, but now I see.

驚くほどの恵み、なんとやさしい響きか
私のような哀れな者さえも、救われた
かつて私は失われ、いま見出された
盲目だったが、今は見える

この歌詞を作ったのはジョン・ニュートンです。彼は黒人奴隷貿易船の船長でしたが、ある日、大嵐にあい、死の恐怖にあったときに、キリストと出会い、回心し、後に牧師になった人物です。

「自分は今まで自分の力だけで生きてきた。そしてすべてを手に入れたと思っていた。しかし、それは間違いであった。主は私を捜し求めてそして私を神の方へ振り向かせてくださった。今までは分からなかったが、今は確かに神の恵みを感じて生きている」

という心境を歌ったのでしょうか。

神様の恵みはいつも変わらず降り注がれています。そして主はいつも共におられます。

それに気づくか気づかないかは私たち一人ひとりに委ねられているのです。

自分の人生の目標を「自分の幸せ」のために生きるのであれば、神の愛や主の存在を感じることは難しいことかもしれません。

しかし、人生の目標を「神様のために」生きるのであれば、日々の生活において神の愛や主の存在を感じる事が出来るかもしれません。そして、何より私たちは日々、神様に訓練されて生きているのではないのでしょうか。自分に与えられた試練は

神様の訓練なのかもしれません。主の弟子たちはその訓練を通して少しずつ「神様のために生きていく力」を養っていったのではないのでしょうか。そして、その訓練の旅ごとに主は「安心なさい。私はあなたと共にいる」という言葉をかけてくださったのです。

「私はいつもあなたと共にいるよ。だから安心なさい」という主の言葉をいつも心に留めて、私たちが弟子たちと同じように主の訓練を受けながら「神様のために生きる」ことが出来る私たちになることが出来ますように祈り続けてまいりましょう。（司祭 越山哲也）

